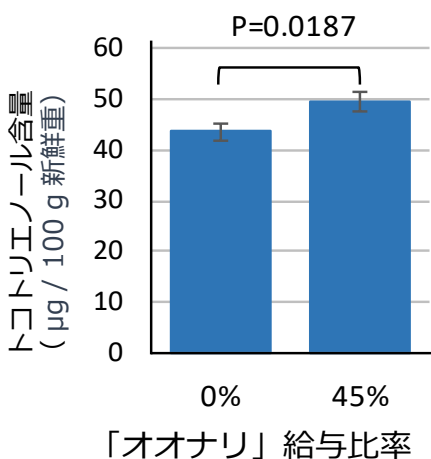


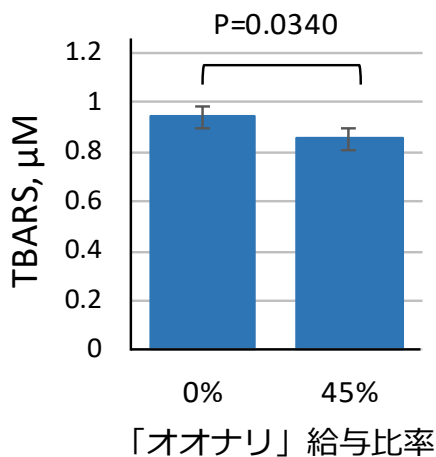
米給与による高トコトリエノール豚肉の開発 － 飼料用米による高品質畜肉生産－

成果の特徴

- 飼料用米「オオナリ」を45%含む飼料で豚を出荷前2ヶ月ほど飼育することで、トウモロコシ主体の慣行飼料で肥育した豚肉よりもトコトリエノールを多く含む豚肉を生産できます。
- この豚肉は脂質の過酸化が抑制され、肉質が向上します。



豚ロース肉中のトコトリエノール含量
値は最小二乗平均値±標準誤差, n=28



豚ロース肉中の貯蔵6日間における
脂質過酸化物量 (TBARS値)
値は最小二乗平均値±標準誤差, n=28

成果の活用

飼養成績から、給与日数を60日、飼料価格を50円/kg、枝肉歩留まり65.5%、枝肉価格480円/kgとした場合、「オオナリ」給与によって、一頭あたり804円の収益向上があると試算されました。

参考文献

地域戦略プロジェクト（自給飼料）成果パンフレット

※本成果は「革新的技術開発・緊急展開事業（うち地域戦略プロジェクト）」（自給飼料）で農研機構畜産研究部門、農研機構中央農研センター、（株）フリーデンと共同で実施されました。